

公益社団法人 高 分 子 学 会  
高 分 子 学 会 賞 内 規

(2003年 3月 26日理事会承認)

(2005年 11月 11日理事会承認)

(2008年 11月 4日理事会承認)

(2011年 11月 11日停止条件付理事会承認 2012年 4月 1日発効)

(総 則)

1. 高分子学会賞(以下学会賞)の候補者の推薦・選考については学会賞規程によるほか、この内規の定めるところによる。  
(受賞候補者の数)
2. 受賞候補者の数は、次のとおりとする。
  - (1) 高分子学会賞(科学) 1名/件
  - (2) 高分子学会賞(技術) 5名以内/件(受賞候補者の推薦手続)
3. 受賞候補者の推薦は、①本会会員、または、②本会会長から推薦を依頼された団体のいずれかが行うものとする。ただし、推薦者の推薦件数は1件に限る。
4. 推薦は、毎年9月末日までに、受賞候補者が所属する支部の推薦委員会あて行うものとする。
5. 推薦に必要な書類は次のとおりである。((1)~(4):正1部、副15部、(5):各2部)
  - (1) 推薦書
  - (2) 受賞候補者の経歴書
  - (3) 業績内容説明書(5000字程度)
  - (4) 報文・特許リスト
  - (5) 報文別刷・特許公報の写し(選考委員会の構成と委員の選任)
6. 学会賞受賞候補者を選考するため、学会賞選考委員会(以下選考委員会)をおく。
7. 選考委員会は、委員長1名、委員14名をもって構成する。
8. 選考委員は、専門別、支部別等の分布を考慮して毎年9月までに執行役会で選任し、会長が委嘱する。
9. 選考委員会の委員長は、担当副会長とする。
10. 選考委員の委嘱に当たっては、予め委員会開催の日取りを通知し、委員会に出席することを受諾条件とする。
11. 受賞候補者、推薦者および推薦委員は、選考委員となることはできない。
12. 選考委員委嘱後、委員が受賞候補者の指導者、共同研究者であった場合は、当該委員は委員を辞退するものとする。
13. 選考委員の辞退者の補充は、執行役会で決定する。
14. 選考委員会の委員名は、選考委員会終了後、本会ホームページに公表する。
15. 選考委員は、審議内容を部外に公表してはならない。  
(専門委員)
16. 選考委員会は、必要に応じ専門委員をおくことができる。
  - (1) 受賞候補者の業績を選考委員が理解する上で、委員以外の専門家の説明を必要と認めた場合、第1回選考委員会で、専門委員を選考し、予め委嘱事項を示し、委員長が委嘱する。
  - (2) 専門委員は、委嘱された事項について、第2回選考委員会で説明する。
  - (3) 専門委員は、委嘱事項に関し、部外に公表してはならない。
  - (4) 専門委員は、委員会の採決には加わらない。

(選考委員会の任務)

17. 選考委員会を3回開催し、推薦委員会から推薦された受賞候補者6件以内の選考を行う。

(1) 第1回選考委員会

イ 推薦に必要な書類(第5条)により、受賞資格の確認を行う。

ロ 受賞候補者ごとに2名以上の担当委員を決める。

ハ 受賞件数の分野別・専門別分配について検討する。

(2) 第2回選考委員会

イ 委員は、第1回選考委員会で配布された推薦に必要な書類(第5条)を検討上、委員会に出席する。

ロ 担当委員および専門委員は、担当した受賞候補者の業績内容について予め十分調査を行い、その内容について説明する。

ハ 受賞候補件数が多数になった場合は、第一次選考を行い、原則として10~12件まで選定することができる。

ニ 第一次選考は投票によって決定する。投票の方法は別に定める。

ホ 第3回選考委員会における、受賞候補者の業績説明の時間配分を決定する。

(3) 第3回選考委員会

イ 受賞候補者の業績説明を聴取する。

ロ 受賞件数の分野別、専門別分配を、毎年選考委員会で決定する。

ハ 受賞候補者の最終選考は、委員会での審議のあと無記名投票で行うものとする。投票と決定の方法については、別に定める。

(候補者の業績説明)

18. 受賞候補者は、第3回選考委員会において業績内容の説明を行う。ただし、やむをえない事情により候補者が説明できない場合は、候補者の共同研究者・指導教官以外の第三者を説明者とすることができる。

(選考結果の報告)

19. 選考委員会委員長は、選考経過とその結果を1月末日までに会長に報告する。

(受賞者の決定)

20. 会長は、選考委員会の選考結果について理事会の議決を求めるものとする。

(受賞決定通知)

21. 会長は、前条の手続きを経た後、受賞者にその結果と表彰式などについて通知する。

(本会論文誌への投稿義務)

22. 受賞者は、受賞した業績を本会論文誌 *Polymer Journal* に **Review Article** として投稿しなければならない。

## 補 則

1. この内規は、「高分子学会賞および高分子科学功績賞内規」(1981年9月1日理事会承認、1983年5月12日、1986年5月13日、1987年5月12日、1998年5月19日一部改正理事会承認)をもとに、高分子科学功績賞および推薦委員会に関する部分を分離し、一部訂正したものである。

2. この内規は、理事会の承認を得て施行する。